2025年度　放課後等デイサービスオリーブ昭苑 事業報告（案）

2024年2月に開設した放課後等デイサービスオリーブ昭苑は20204年度を経て、2年目の2025年度は運営の安定化をめざす時期でした。以下8つの項目を事業計画の柱として2025年度の事業を実施した結果を報告致します。

1.利用者増員

　2025年度は利用率90～100%をめざし利用者の増員を図る予定でしたが、4月当初の18名の登録者は8月に16名となり、12月に1名増の17名となりましたが、3月末まで登録者数はそのままでした。2026年度は現在の登録者の土曜日の利用率を上げるとともに、新規登録者をあと5名増やし、平日は常に100%の充足率を達成できるようにしたいと思います。

2.職員募集

　児童指導員の求人を出しても応募がないなか、2025年度は昭苑こども園から元主幹保育教諭の保育士をオリーブ昭苑に迎え、運営の活性化を図りました。また、土曜日に出勤する2名の職員が平日に1日ずつ振替休日を取れるように週3回程度勤務可能なパートタイマーの児童指導員を2026年2月から配置することができました。

3.収支計画

　2024年度は利用率が7割弱。2025年度は平日9割から10割を目指していましたが結果的には年間を通して8割程度の充足率でした。そのため事業活動収支とていは280万円程度のマイナスとなっています。次年度以降は登録者を増やし、土曜日の利用率を上げることで事業活動収支をプラスに転じるように運営していきたいと思います。

4.活動の充実

　障害児通所支援は個別支援計画に基づいた活動が要求されます。オリーブ昭苑は小集団による社会性・コミュニケーションの支援を基軸として活動しています。活動内容は単なる預かりや学習塾的なものではなく、厚生労働省ガイドラインに記載のあるア：健康・生活、イ：運動・感覚、ウ：認知・行動、エ：言語・コミュニケーション、オ：人間関係・社会性の領域を取り入れながら個別支援計画に基づいて行います。2025年度は障害特性の多様化が予測されるため、小集団を更にグループ分けし個性を尊重した支援を行いました。また、土曜日や学校長期休みなどの機会に工場・博物館・郷土資料館などの見学を行い、経験の幅を広げ、。併せて児童期は発達形成の重要な時期であることから、感覚運動や公園遊びなど体を使った支援の充実も図ました。

5:インクルージョンの推進

オリーブ昭苑では学齢期においても、昭苑こども園・エール昭苑の「インクルーシブなこそだて」理念を踏襲しました。放課後等デイサービスは学校終業後の活動が主体となっていることから、適性のある利用児童を昭苑学童の行事に参加できるよう促し、またインクルーシブの理念の浸透には、保護者や近隣住民の意識が大きく関わるため、園だよりなどに寄稿しながら取り組みを発信しました。また地域（酒々井町）へは、自立支援協議会を通じ、地域の子育て家庭で子どもの発達に心配ごとや悩みを抱えている保護者へ相談会の場を儲けるなどしてアプローチしていきました。

6:個別支援の充実

発達支援には根拠がなければ、感覚的・場当たり的なものとなってしまいます。支援方法に同一の方向性を持たせるため、利用児童の特性に合わせた環境設定が必要と考えます。このため、ABAやTEACCHプログラムの考えを基礎とし、ASD・ADHD・LD等の発達障害に特化した個別支援を2025年も実施しました。ツールとしては「ケア・カルテ」を運用し、アセスメント・ケース記録・個別支援計画を一貫して使用することで、各ライフステージにて途絶えがちな「切れ目のない支援」に備えています。

7:保護者連携

2025年5月17日（土）と2026年12月6日（土）に保護者会を開催しました。同じ悩みを持つ保護者同士が集うことで、現在や将来に対する不安や希望を共有する事ができました。その際、事業所における緊急マニュアルや感染症防止対策の保護者周知が義務化されていることを周知していきます。また、苦情解決のシステムは様々なツールや窓口についても合わせて周知させて頂きました。

8:研修計画

ジョブメドレーアカデミーによるオンライン研修を通じて法定研修受講の効率化をはかり、就業時間内に毎日取り組むことで、継続的な知識・技能の向上を図りました。また強度行動障害支援者基礎研修・同実践研修には入職後の常勤職全員を対象として取り組み、1名の職員が基礎研修、実践研修に参加しました。

日時	内容	種類	備考
2025年7月	感染症対策研修①	法定研修	
2025年8月	虐待防止及び身体拘束研修	法定研修	
2025年10月	災害に係る業務継続計画（BCP)のための研修	法定研修	
2025年12月	感染症に係る業務継続計画（BCP)のための研修	法定研修	

2026年2月	感染症対策研修②	法定研修	
2026年2月	放デイ～応用行動分析（ABA)に基づく支援）～	法定研修	

1.月毎の契約者数、稼働率、月額報酬、年間報酬額

月	契約者（名）	稼働率（%）	月額報酬 （未収を含む）	利用者負担	総収入額 （未収を含む）
4月	17	80.4%	1,984,932	40,916	2,025,848
5月	17	84.5%	2,006,369	51,690	2,058,059
6月	17	89.1%	2,625,806	55,200	2,681,006
7月	17	87.2%	0	55,200	55200
8月	16	70.4%	4,414,550	45,567	4,460,117
9月	16	85.4%	2,075,658	50,600	2,126,258
10月	16	75%	2,462,405	50,600	2,513,005
11月	16	80.5%	1,656,417	48,592	1,705,009
12月	17	80.9%	2,020,126	46,000	2,066,126
1月	17	82.3%	2,102,697	53,192	2,155,889
2月	17	91.1%	1,901,320	50,755	1,952,075
3月	17	89.1%	2,095,125	47,296	2,142,421
計			25,345,405	595,608	25,941,013

2026年3月末契約者内訳：

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
酒々井小			2	1		1	4
大室台小	4	3	1				8
印旛特支		2		1	1		4
桜が丘特支						1	1

計	4	5	3	2	1	2	17

2026年3月末職員配置

職種	正職員	パート	備考
管理者	(1)	0	
児童発達支援管理責任者	1	0	管理者兼務
児童指導員	3	1	
保育士	1	0	
心理指導担当職員	0	0	
機能訓練担当職員	0	0	
計	5	1	